

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 松ヶ江北 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたのでお知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

(1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

(2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走
立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮してまいります。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

本校5年生は、男子を中心に運動が好きな児童、体育科の学習が好きな児童が多い。また、勝つことよりも、記録が伸びることや、練習を通してできなかったことができるようになること、友達に褒められることなどに、やりがいを感じる児童が多い。

児童にとって運動やスポーツは欠かせないものであり、今後も生涯スポーツとして児童一人一人が運動に取り組んでいくことができるよう、様々な場面で働きかけを行っていくようにする。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

本校は、体育科の学習において、めあてが毎時間提示され、ふり返りの時間も確保されている。また、女子を中心に、東京オリンピックの試合を見たい、大会ボランティアをしてみたいという児童が多くみられた。全校においても、障がい者スポーツにおける交流など、オリンピック、パラリンピックに親しむ機会を、さらに充実させていく取り組みを進めていきたい。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

体育科学習におけるジャンプアップ運動、毎週木曜日の朝に実施している「松北スポーツタイム」での体操やランニングなどの取り組みの他、3学期に「松北大なわ週間」を設定し、児童が外で運動をする習慣をつけるようにしている。また中学校区で取り組んでいる「松ヶ江体操」により、体幹を鍛える運動を週一回以上行っている。